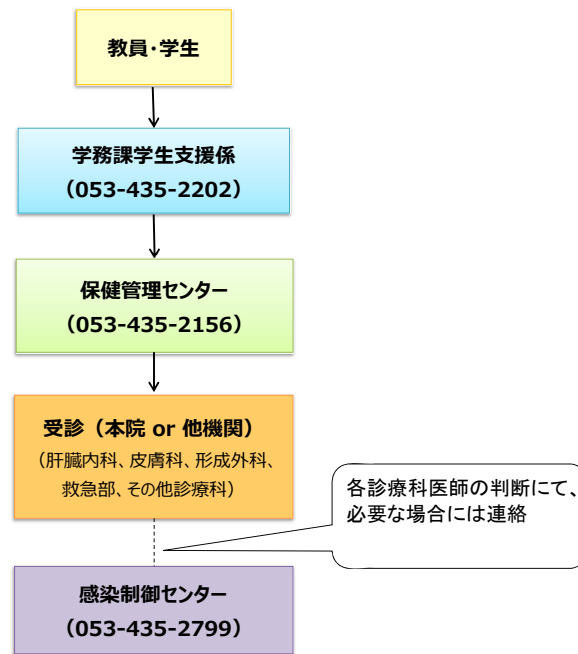


学生の針刺し・切創・咬傷・粘膜暴露等対応フローチャート（2024年度作成）

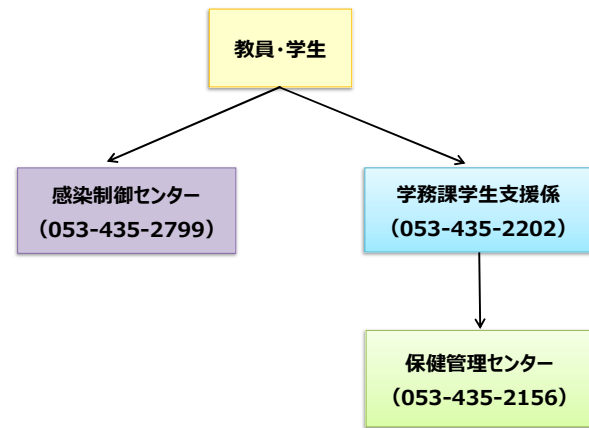
<平日日中（8:30～17:15）対応の場合>

- 院外発生時（ウイルス感染の可能性が否定できない場合）
例：動物実験、大学院生の司法解剖、学外実習*等（解剖実習は除く）
*学外実習の場合、基本的には実習先機関の指示に従う。



- ① 教員・学生は学務課へ連絡
※電話連絡もしくは直接窓口へ行く。
- ② 学務課から教員・学生へ事故報告書提出依頼
【教員】「針刺し・切創・粘膜汚染発生報告書」(病院様式)を
感染制御センターからもらい感染制御センターへ提出
※感染制御センターから提出を求められた場合のみ
【学生】学務課窓口にて事故報告書（学務課様式）を提出
- ③ 学務課から保健管理センターへ連絡・学生案内
※対象学生の付帯学生生活総合保険への加入有無確認。
（学部生は全員加入。大学院生は任意加入。）
※加入していた場合、詳細説明は別途メール案内。
- ④ 保健管理センターから学生へ受診案内（本院 or 他機関）

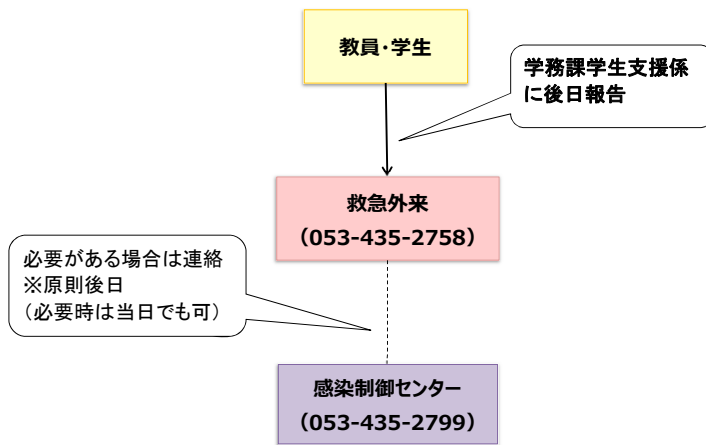
- 院内発生時
例：病院実習 等



- ① 教員（実習担当指導教員）・学生は感染制御センター・学務課へ連絡
※電話連絡の上、感染制御センターへ。
- ② 学務課から教員・学生へ事故報告書提出依頼
【教員】「針刺し・切創・粘膜汚染発生報告書」(病院様式)を
病院端末からダウンロードして感染制御センターへ提出
【学生】学務課窓口にて事故報告書（学務課様式）を提出
- ③ 学務課から保健管理センターへ連絡・情報共有
※対象学生の付帯学生生活総合保険への加入有無確認。
（学部生は全員加入。大学院生は任意加入。）
※加入していた場合、詳細説明は別途メール案内。
※採血の結果により、受診・フォローアップ等が必要となった場合、
その後の対応について感染制御センターから学務課職員と学生へ説明。

<平日時間外・休日対応の場合>

- 院外発生時・院内発生時共通



- ① 教員・学生は救急外来へ連絡
※電話連絡し、救急外来の指示に従う。
- ② 救急部は感染制御センター作成の院内フローチャートに基づき対応。
※必要がある場合には感染制御センターへ連絡（原則後日。必要時は当日でも可。）
- ③ 教員・学生は学務課へ後日報告
※対象学生の付帯学生生活総合保険への加入有無確認。
（学部生は全員加入。大学院生は任意加入。）
※加入していた場合、詳細説明は別途メール案内。
※事故報告書提出依頼。
- ④ 学務課から保健管理センターへ連絡

※教員・学生は学務課学生支援係に後日報告すること。
（その後学務課から保健管理センターへ情報共有の連絡）